

## 《遊休農地を活用した周年農業プロジェクト》

市町村	鶴岡市	対象地域	藤島地区	分野	農業（園芸）
実施主体名	富樫民雄	代表者氏名	富樫民雄	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	鶴岡市
実施主体構成	個人				

プロジェクト目標（5年後）	産出額（増加額）	15,000千円（4,000千円）				
	独自の目標項目	遊休農地（借地）30aをゼロにする、なす及び花きの栽培面積を30aにする				
各年次目標	現 状	1年目（H21）	2年目（H22）	3年目（H23）	4年目（H24）	最終年（H25）
産出額	9,000千円	9,500千円	11,000千円	12,500千円	14,000千円	15,000千円
なす、花き産出額			1,000千円	2,000千円	2,500千円	3,000千円
遊休農地	30a	30a	0a	0a	0a	0a
なす栽培面積	0a	0a	20a	20a	20a	20a
花き栽培面積	0a	0a	10a	10a	10a	10a
プロジェクト概要	◎実施方針	農業機械を導入し、米・転作用大豆の生産に係る労働時間とコスト低減を図るとともに、ハウスを増設し、なす、花き等を栽培する。生産した農産物は、妻が経営する花屋（酒田市、中卸・小売）を通じ、ヤマザワ（2店舗）、Aコープ、ぼっぼの湯の売店などを通じて販売を拡大する。				
	○産出額の増大	連携する店舗から、出荷品目の増、多様化に対する要請がある。				
	○雇用の創出	現在は、本人、妻、アルバイトの3名。ハウス増加に対応し、22年9月から通年雇用を2名採用する予定（平成25年の雇用人数 2人/日）。				
	○創意工夫	野菜、花きについては花屋の卸機能を通じて、ヤマザワ、Aコープ等の顧客ニーズをいち早く掴み、生産に結びつける。				
	○実現性	花きや野菜、米の販路については、既存の販路を確保しており、そのパイプをさらに太くするものである。今後、市場調査も実施し、更なる拡大を目指す。				
	○地域への波及効果	遊休農地の解消に資する。				
	○その他					

		実施年度（平成21年度）	実施年度（平成22年度）
事業内容		ハウス増設、農業機械（トラクター）	農業機械（コンバイン）、花き販売ツールの整備（花屋のディスプレイなど備品関係）